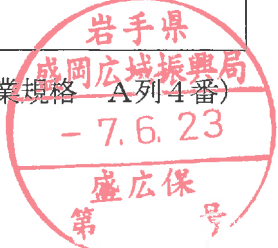


(第1面)

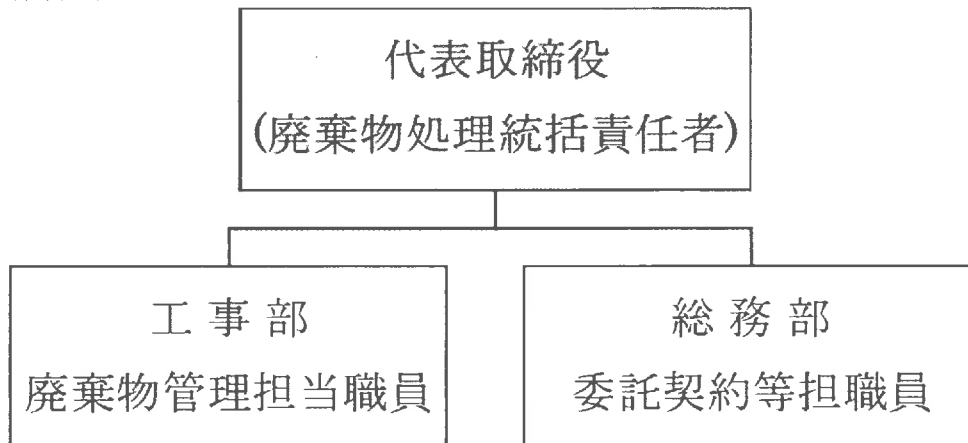
産業廃棄物処理計画書	
令和 7年 6月21日	
岩手県知事 達増拓也 殿	
提出者	
住 所 岩手県滝沢市上鶴飼110-2	
氏 名 株式会社工藤重機	
代表取締役 工藤秀二	
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)	
電話番号 019-680-2320	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	株式会社工藤重機
事業場の所在地	岩手県滝沢市上鶴飼110-2
計画期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	職別工事業【はつり・解体工事業】
② 事業の規模	元請完成工事高 8,830万円
③ 従業員数	12名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	① 廃プラスチック類Ⅰ→圧縮・切断処理→再生利用 ② 廃プラスチック類Ⅱ→焼却処理(熱回収) ③ 紙くず→焼却処理(熱回収) ④ 木くずⅠ→自社で破碎処理→再生利用 ⑤ 繊維くずⅠ→圧縮処理→溶融処理(熱回収) ⑥ 金属くず→圧縮・切断→再生利用 ⑦ ガラスくず・陶磁器くずⅠ→圧縮・切断処理→溶融処理(熱回収) ⑧ ガラスくず・陶磁器くずⅡ→安定型埋立処分 ⑨ ガラスくず・陶磁器くずⅢ→管理型埋立処分 ⑩ がれき類Ⅰ→自社で破碎処理→再生利用 ⑪ がれき類Ⅱ→安定型埋立処分 ⑫ 水銀使用製品産業廃棄物→破碎処理→焙焼処理

(日本産業規格 A列4番)



産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	(これまでに実施した取組) 分別を徹底している。		
②計画	【目標】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 分別の徹底を強化する。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、金属くず、ガラスくず・陶磁器くず、がれき類、水銀使用製品産業廃棄物を確実に分別し処分をしている。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 更なる、上記産業廃棄物の分別を徹底する。

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和6年度）実績】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 木くず、がれき類について、破砕処理後有価売却をしている。		
②計画	【目標】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 木くず、がれき類について、破砕処理後有価売却をする。 がれき類(コンクリート廃材)について、自社工事の現場内で自ら利用を実施する。		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和6年度）実績】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) —		
②計画	【目標】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) —		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) —		
②計画	【目標】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) —		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

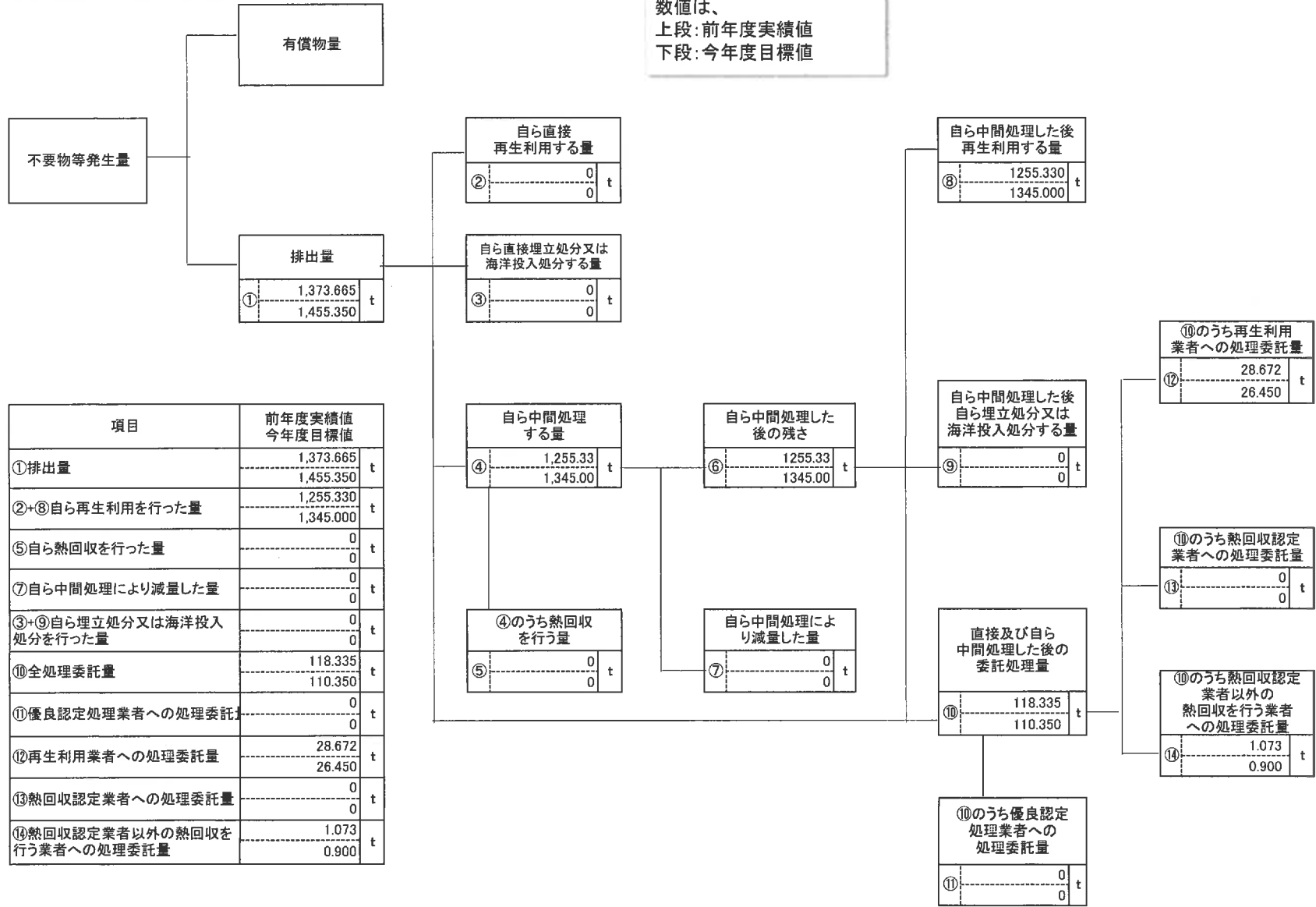
①現状	【前年度（令和6年度）実績】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処 理 委 託 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	①廃プラスチック類は、破碎処理または圧縮・切断処理に委託後、焼却処理・溶融処理業者が熱回収をしている。 ②紙くずは、全量を焼却処理に委託し、熱回収をしている。 ③繊維くずは、圧縮処理に委託後、焼却処理・溶融処理業者が熱回収をしている。 ④金属くずは、圧縮・切断処理に委託後、全量再生利用している。 ⑤ガラス・陶磁器くずのうち溶融処理できるものについては、圧縮・切断処理に委託後、溶融処理業者が熱回収をしている。 ⑥水銀使用製品産業廃棄物については、破碎処理に委託後、再生利用している。		

②計画	【目標】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 再生利用が可能である廃棄物については、再生利用業者へ処理委託する。		
※事務処理欄			

(産業廃棄物の種類: 合計)

【別紙】今年度の計画

数値は、
上段: 前年度実績値
下段: 今年度目標値



【別紙】今年度の計画

有償物量

不要物等発生量

排出量

自ら直接
再生利用する量

②	0	t
	0	

自ら直接埋立処分又は
海洋投入処分する量

③	0	t
	0	

自ら中間処理した後
再生利用する量

⑧	0
	0

自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分する量

⑨	0
	0

⑩のうち再生利用
業者への処理委託量

(12)	18.210	t
	16.800	

⑩のうち熱回収認定
業者への処理委託量

(13)	0	t
	0	

⑩のうち熱回収認定
業者以外の

熱回収を行う業者 への処理委託量	0.061
---------------------	-------

直接及び自ら
中間処理した後の
委託処理量

(10)	18.571	

⑩のうち優良認定
処理業者への
処理委託量

⑪	0
	0

自ら中間処理
する量

④	0	t
	0	

自ら中間処理した 後の残さ

⑥	0
	0

④のうち熱回収
を行う量

⑤	0	t
---	---	---

自ら中間処理により減量した量

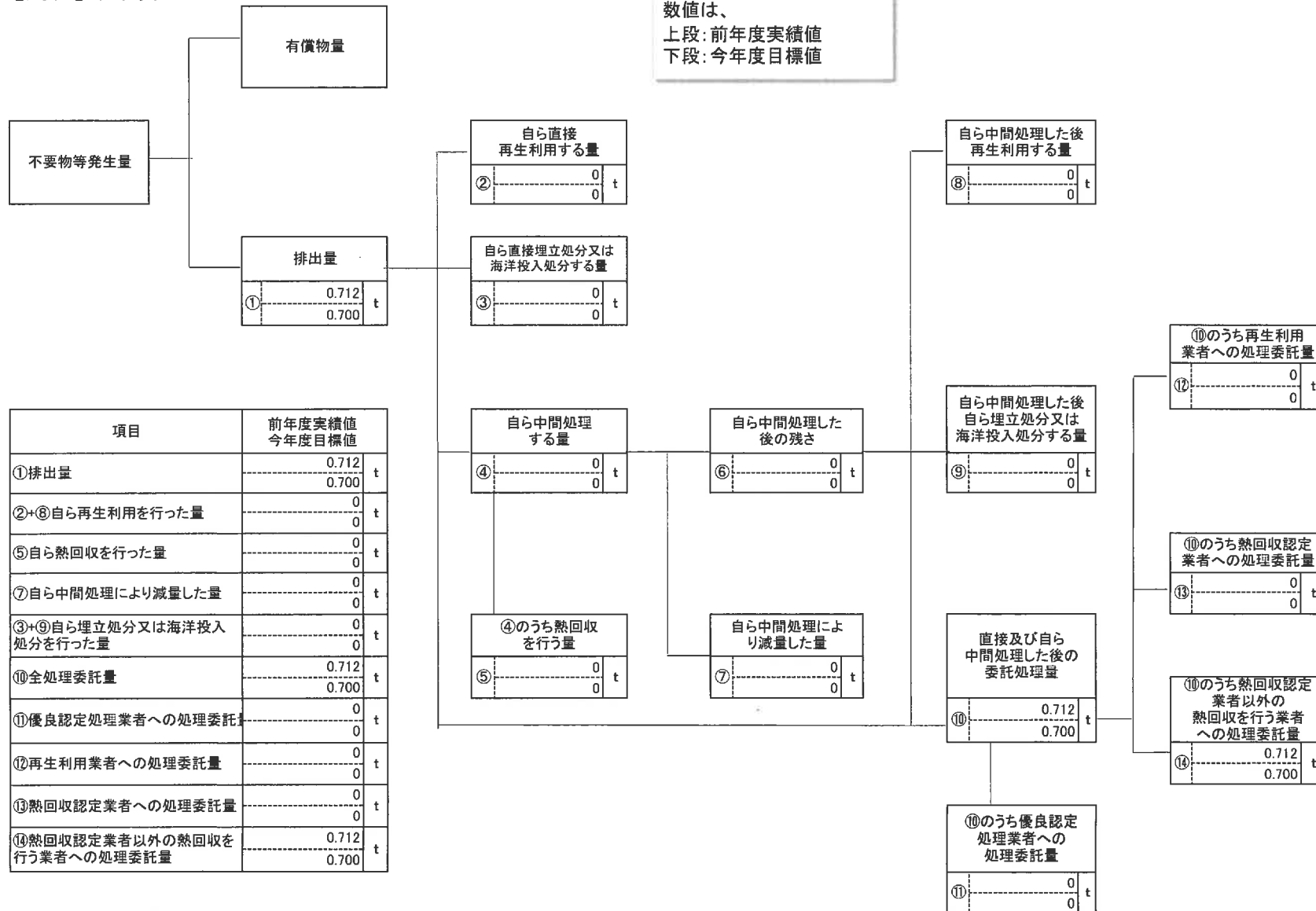
⑦	0
	0

項目	前年度実績値 今年度目標値	
①排出量	18,571 17,000	t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0 0	t
⑤自ら熱回収を行った量	0 0	t
⑦自ら中間処理により減量した量	0 0	t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入 処分を行った量	0 0	t
⑩全処理委託量	18,571 17,000	t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0 0	t
⑫再生利用業者への処理委託量	18,210 16,800	t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0 0	t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を 行う業者への処理委託量	0.361 0.200	t

(産業廃棄物の種類: 紙くず)

【別紙】今年度の計画

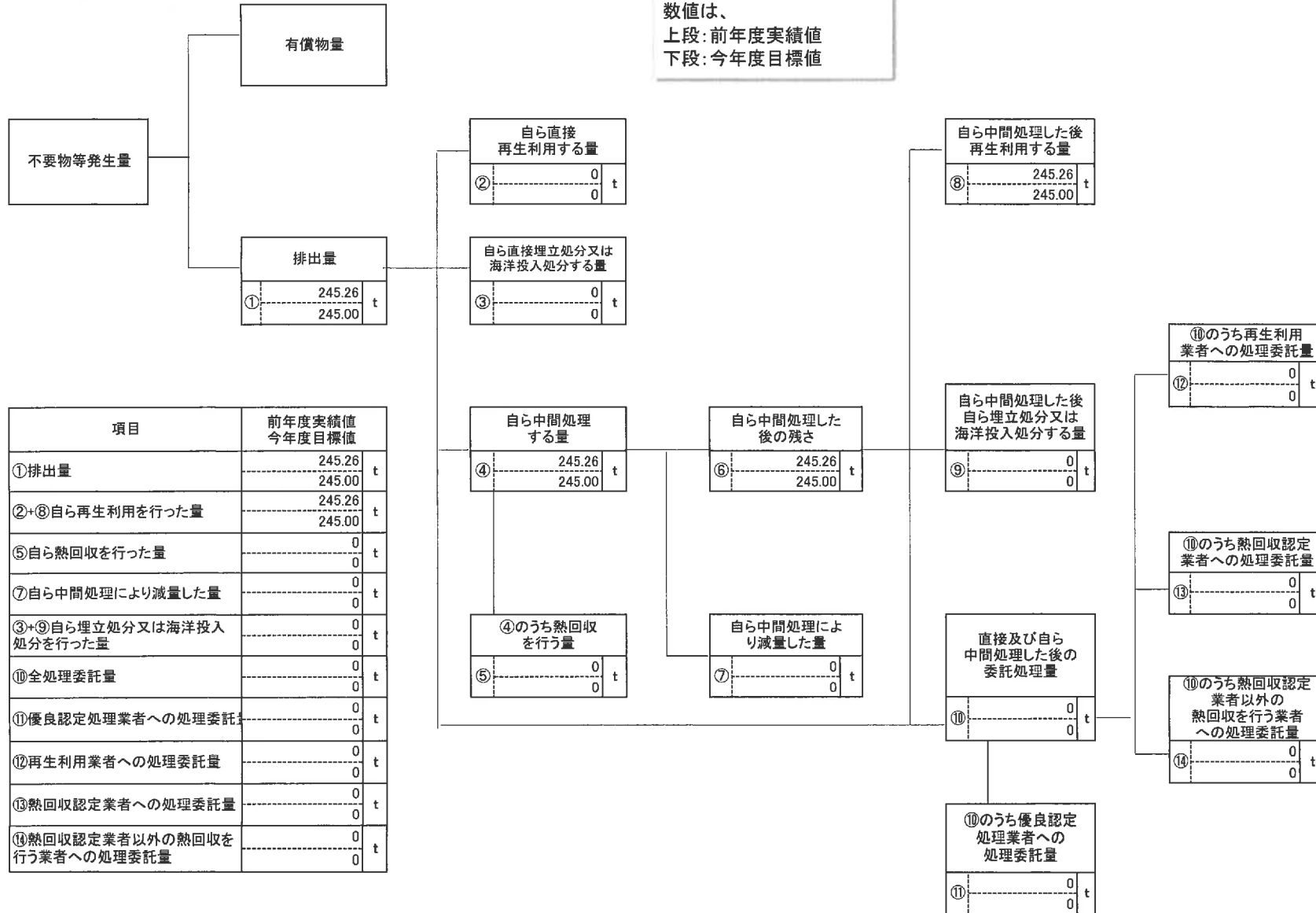
数値は、
上段: 前年度実績値
下段: 今年度目標値



(産業廃棄物の種類: 木くず)

【別紙】今年度の計画

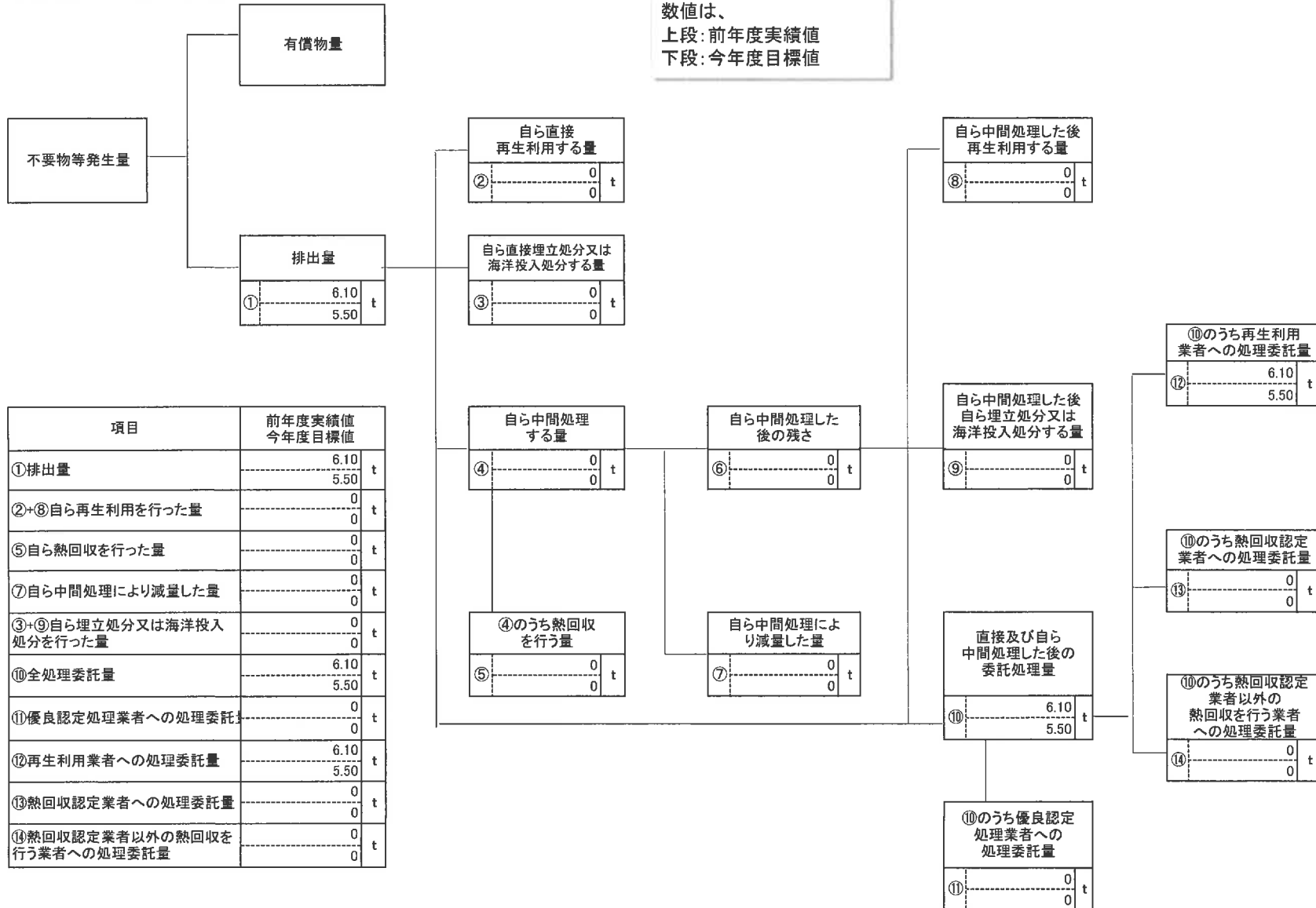
数値は、
上段: 前年度実績値
下段: 今年度目標値



(産業廃棄物の種類: 繊維くず)

【別紙】今年度の計画

数値は、
上段: 前年度実績値
下段: 今年度目標値



有償物量

不要物等発生量

排出量

自ら直接
再生利用する量

②	0	t
	0	

自ら直接埋立処分又は
海洋投入処分する量

	0	t
③	0	

自ら中間処理した後
再生利用する量

8	0
	0

自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分する量

9	0
	0

⑩のうち再生利用
業者への処理委託量

⑫	1.86	t
	2.00	

⑩のうち熱回収認定
業者への処理委託量

13	0	t
	0	

⑩のうち熱回収認定
業者以外の

熱回収を行う業者 への処理委託量	0
---------------------	---

直接及び自ら
中間処理した後の
委託処理量

10	1.86
----	------

⑩のうち優良認定
処理業者への
処理委託量

(11)	0
	0

項目	前年度実績値 今年度目標値	
①排出量	1.86 2.00	t
②+⑥自ら再生利用を行った量	0 0	t
⑤自ら熱回収を行った量	0 0	t
⑦自ら中間処理により減量した量	0 0	t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入 処分を行った量	0 0	t
⑩全処理委託量	1.86 2.00	t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0 0	t
⑫再生利用業者への処理委託量	1.86 2.00	t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0 0	t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を 行う業者への処理委託量	0 0	t

自ら中間処理

9 6 11	
④	0

自ら中間処理した

後の残さ	
⑥	0

④のうち熱回収
を行う量

⑤	0	t
	0	

自ら中間処理によ

⑦	0	t
---	---	---

直接及び自ら
中間処理した後の
委託処理量

10	1.86
----	------

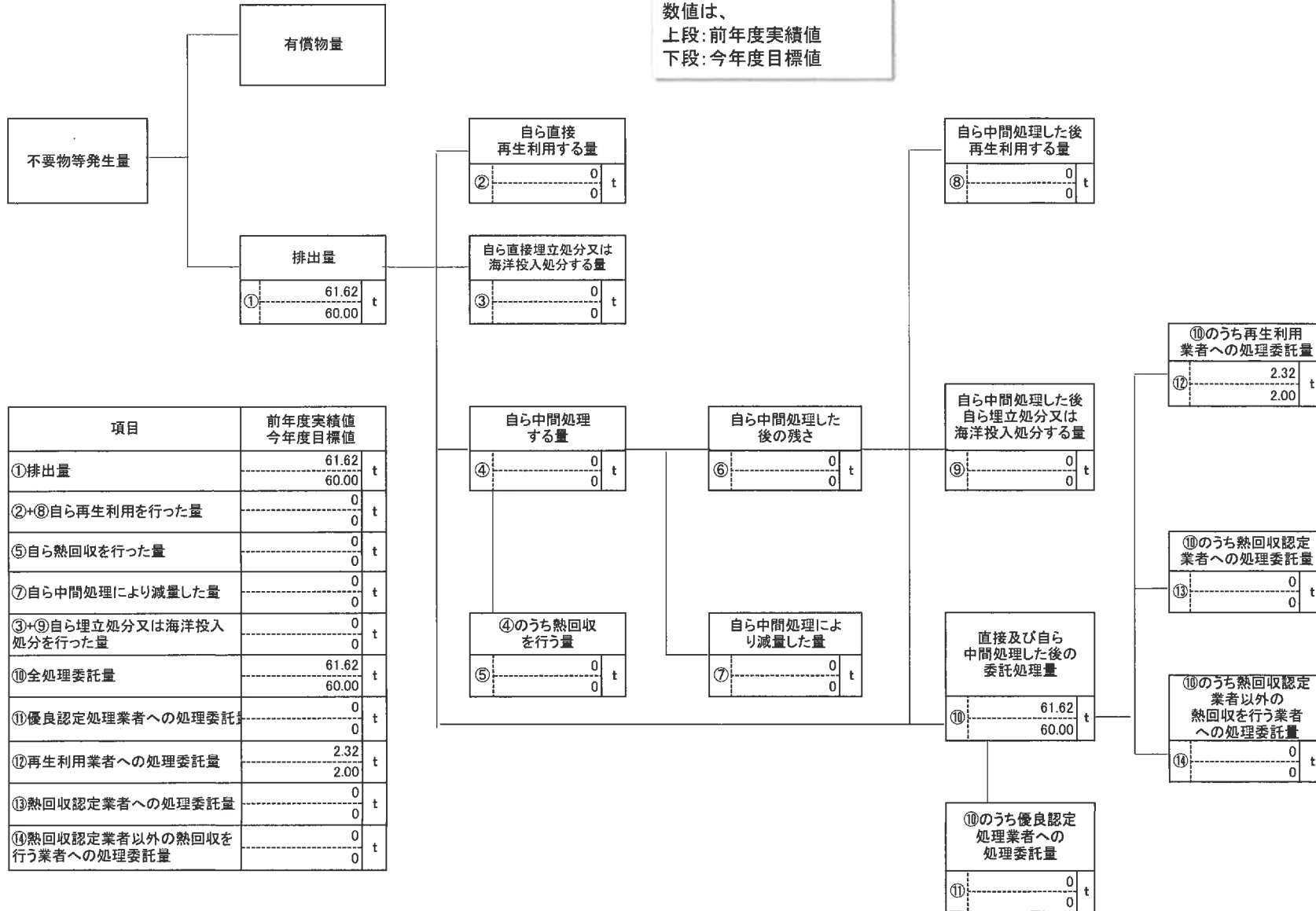
⑩のうち優良認定
処理業者への
処理委託量

(11)	0
	0

(産業廃棄物の種類: ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず)

【別紙】今年度の計画

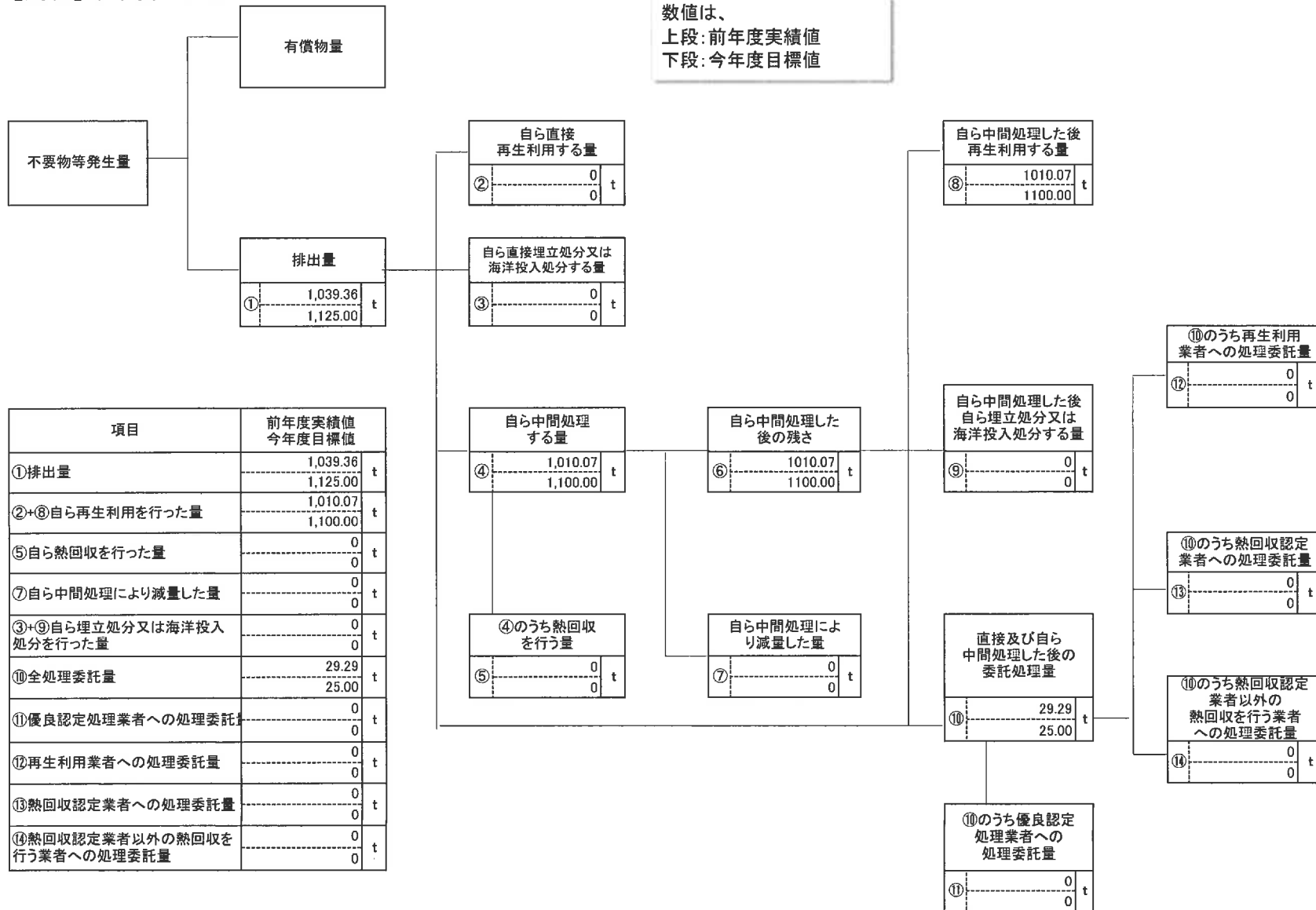
数値は、
上段: 前年度実績値
下段: 今年度目標値



(産業廃棄物の種類: がれき類)

【別紙】今年度の計画

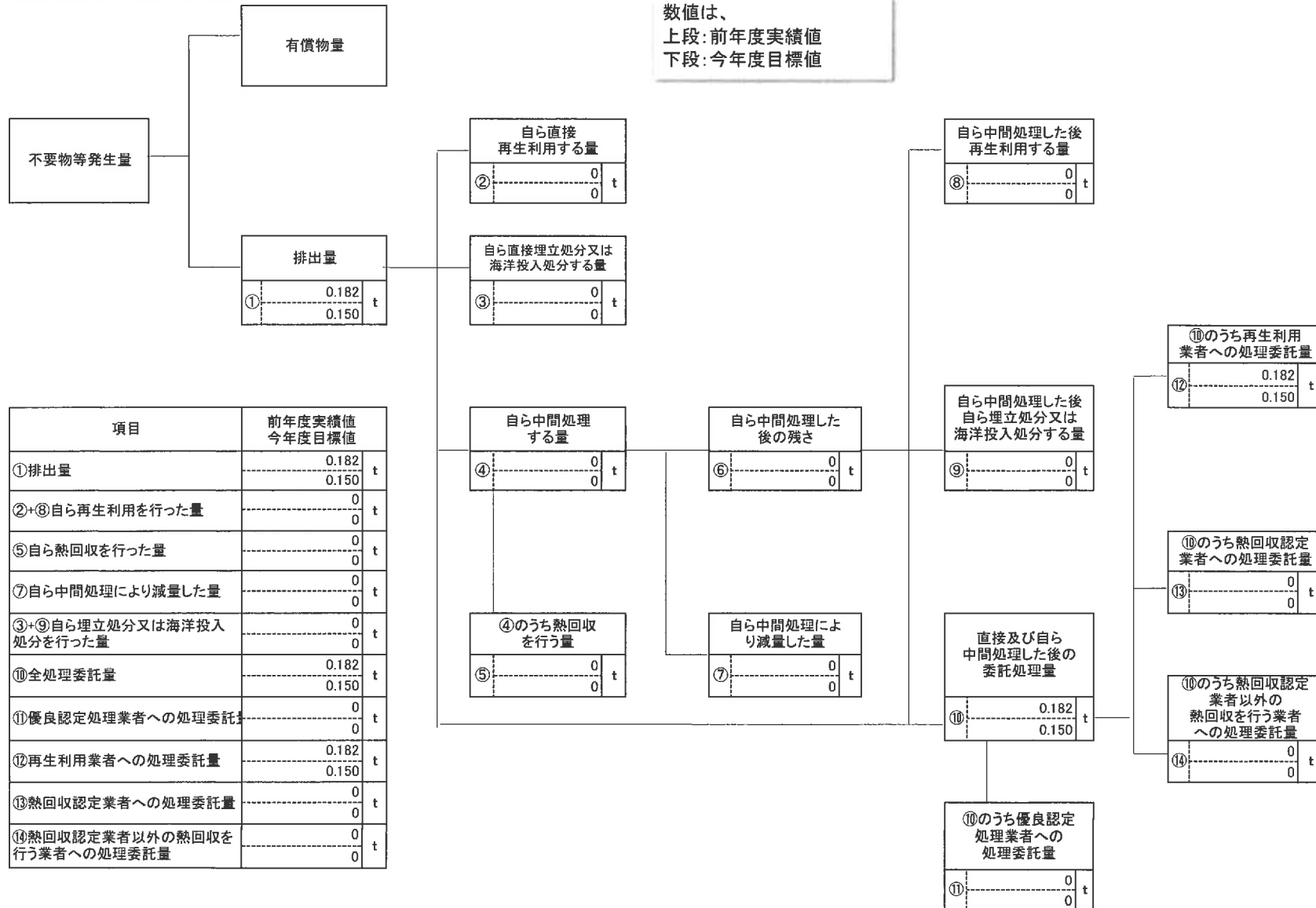
数値は、
上段: 前年度実績値
下段: 今年度目標値



(産業廃棄物の種類: 水銀使用製品産業廃棄物)

【別紙】今年度の計画

数値は、
上段: 前年度実績値
下段: 今年度目標値



備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。